

オール関西で取り組む関西のスポーツ振興

当会は、2018年に策定した「関西スポーツ振興ビジョン」で掲げた「スポーツで輝く関西」の実現をめざし、関西の産学官・スポーツ界の連携による取り組みを進めてきた。また、当会が大会組織委員会と連携し機運醸成に取り組んでいる「ワールドマスターズゲームズ(WMG) 2027関西」は、開催まであと1年強となり、3月にはエントリー受付も開始されている。

今号では、スポーツ振興に向けた2025年度の活動状況とともに、WMG 2027関西に向けた主な取り組みを紹介する。

「関西スポーツ振興ビジョン」の4本柱

2018年7月に「関西スポーツ振興ビジョン」を策定して以来、当会では、「生涯スポーツ振興」「トップアスリート育成」「スポーツイベント招致」「スポーツ産業振興」の4本柱を軸に、ビジョンの実現に向けた取り組みをオール関西で進めてきた。以下、2025年度の主な活動について紹介する。

「生涯スポーツ振興」事業

■ スポーツイベントへのアスリート派遣事業

本事業は、実業団チーム等を有する企業の協力のもと、地域のスポーツイベントにアスリートを派遣するものである。各イベントの魅力向上やスポーツ参加の裾野拡大をはかることを目的に、2020年度から関西広域連合と連携して実施している。

2025年度は、三重県、鳥取県、京都府京丹後市・福知山市等において、12件の派遣協力を実施した。参加者や派遣先自治体からは、「オリンピックやプロ選手の指導はとても貴重な機会になった」「関西連が間に入ることでイベントを円滑に開催することができた」といった評価の声が寄せられている。



三重県
(スケートボード教室)

■ 関西スポーツ応援企業表彰

当会と関西広域連合は、スポーツを通して地域の活性化や従業員の健康増進などに継続的に取り組んでいる企業および企業所属の審判員を表彰する「関西スポーツ応援企業表彰」を2019年度から実施している。今回で7回目を迎えた。

2026年1月22日に開催した表彰式では、松本正義

会長と三日月大造広域連合長から、受賞した5社の代表者ならびに審判員の方々(表)に対し、表彰状および副賞を贈呈した。

表 関西スポーツ応援企業表彰 受賞企業・受賞者

大賞：NTTデータ関西(大阪市)
関西を拠点としたスポーツ振興と持続可能な社会づくりに取り組む挑戦

スポーツ振興賞：明治安田生命保険(大阪市)
スポーツ支援を通じた健康増進・地域貢献

地域振興賞：南海電気鉄道(大阪市)
eスポーツを通じた地域活性化

健康経営賞：日吉(近江八幡市)
アスリートの雇用・支援および社員の健康活動促進

特別賞：サンコー(海南省)
スポーツ分野への総合的支援、健康経営の促進

審判員表彰：

井内 宏隆(社会福祉法人 健祥会/徳島県ゲートボール協会)
大倉 直也(社会福祉法人 桜梅会/南丹市陸上競技協会)
久嶋 道弘(本田技研工業/三重県カヌー協会)
楠本 智子(海南省役所/和歌山陸上競技協会)
黒川 直樹(日本郵便/大阪府バスケットボール協会)
竹長 泰彦(生見栄養薬品/福井県サッカー協会)



表彰式

「トップアスリート育成」事業

■ 医科学支援事業

関西の行政機関・経済団体(当会含む)・スポーツ関係団体・大学等が参画する「関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム」の事業の一つとして、関西各地の6つの支援機関と連携し、医科学支援事業に取り組んでいる。本年度は、各府県体育・スポーツ協会から推薦された58名を対象に医科学測定会を実施するとともに、医科学サポートプログラム(測定

会参加者のうち優秀な選手6名に対する総合的支援)や、スポーツ医科学に関する悩みや質問に対応する医科学相談窓口の設置などを行った。

WMG 2027関西を支援する取り組み

■ WMG 2027関西 決起大会&記念シンポジウム

WMG2027関西の機運醸成を目的に、関西広域連合およびWMG2021関西組織委員会とともに「WMG2027関西 決起大会&記念シンポジウム」を2025年12月15日に開催、約300名が参加した。

シンポジウム内のパネルディスカッションでは、日本たばこ産業理事・大阪支社長の嶋田有里菜氏、テニスプレーヤーの伊達公子氏、NTT西日本陸上競技部所属で東京パラリンピック銅メダリストの堀越信司氏をパネリストに迎え、「生涯スポーツがつくる未来社会～WMG2027関西がもたらす新たな可能性～」をテーマに、活発な議論が交わされた。



WMG2027関西 決起大会&記念シンポジウム

■ さまざまな機会をとらえた機運醸成への取り組み

当会では、会員企業に対するWMG2027関西への参加・PR協力の呼びかけに加え、アスリート派遣事業を通じた競技開催地でのPRイベントの実施や、大学とのネットワークを活用した各大学の体育会OB・OG層へのPRなど、さまざまな機会を通じて機運醸成および参加促進に取り組んでいる。

2026年2月5日～6日に開催され、約680名が参加した第64回関西財界セミナーでは、スポーツをテーマとした分科会において、WMGの果たすべき役割などについて議論した。会場では、大会ポスターの掲示や全参加者へのパンフレット配布を行ったほか、PRブースの設置、大会マスコットキャラクター「スフラ」との記念撮影なども実施した。

WMG2027関西開催まであと約1年！ 2026年度のスポーツ振興の取り組み

WMG2027関西の開催まで、いよいよあと1年強となった。2026年度は、既存事業との相乗効果も視野に入れながら、特にWMGの機運醸成および参加促進に資する活動に重点的に取り組んでいく。

(地域連携部 橘知孝・脇本宇・佐脇尚聖)

ワールドマスターズゲームズ2027関西のエントリーが開始されました！

概ね30歳以上であれば誰もが参加できる世界最大級の国際総合スポーツ競技大会「ワールドマスターズゲームズ2027関西」が、2027年5月14日から30日まで、関西の13の府県・政令市を舞台に35競技59種目が開催されます。

一般エントリー受付が開始された3月2日には、メディア向けのイベントも実施され、吉本興業の「大会応援芸人」らが参加して、大会や競技の魅力をアピールしました。また、一般エントリー開始直後から4月にかけて、テレビCMや新聞広告、自治体の広報誌などにおいて重点的な情報発信が行われました。



ワールドマスターズゲームズ2027関西 概要

会 期	2027年5月14日(金)～30日(日)の17日間
実施競技	公式競技 35競技59種目(他 オープン競技実施)
開催地	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
参加目標	参加者5万人(国内3万人、国外2万人：150か国・地域以上)
主 催	公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
共 催	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
後 援	スポーツ庁

